



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.19

新型コロナウイルス感染症のピークは専門家によるすでに過ぎていると発表されていますが、地域差は大きく、その対策も幅広いものとなっています。婦人会では、地域の実情に応じて、少し小さな単位で活動を継続しています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介します。

〈山口県結核予防婦人会〉

〈萩市佐々並婦人会〉

2月と3月は活動自粛で会議や事業が中止を余儀なくされました。3月にはこのままではいけない、できることをやろうと「マスクづくり」を始めました。

当初は、公共施設が使えないので自宅で各自が作成していましたが、緊急事態解除後の5月末からは、制限はありますが、公共施設が使えるようになり、数名が集まり作るようになりました。マスクは立体型、プリーツ型、マチ付き型で、それぞれ子供用大人用と楽しく作れました（写真1）。

これまで、各自の家庭で作製したものを3回、合計200枚を保育従事者、学校の先生にお届けし、喜んでいただけました。

会員が集まって作るようになって、6月と7月で300枚を製作しました。

9月から、地元小学校、中学校、保育園、行政、社会福祉協議会、高齢者世帯へ贈り、10月の防災学習会等でも参加者に配布する予定です。



写真1 カラフルな手作りマスク

〈宇部市婦人会協議会〉

3月初旬、小学校が一斉臨時休校となっていました。学童保育は開所をして子どもを受け入れました（婦人会が学童保育を委託されて実施しています）。その際、学童保育指導員は、マスク不足を心配しており、それを解消するため、指導員他関係者に手作りマスクを贈呈しました（写真1）。

3月末にも琴芝小学校教職員と全児童に手作りマスクを300枚作製。入学式に間に合うようお届けしたところ、とても感謝されました。

マスク不足の中、材料も入手出来ない状況が続き、琴芝小学校区では地域住民の不安が広がっていました。それを解消するために、約500枚のマスクを作り必要とされる場所に届けました。

多人数が集まって多くの人の手で作る作業はリスクが高いため、布仕事の好きな3名で作製。材料の調達はネットで買い物をするのが得意な人が担当し、材料を揃えました。

登校時、子どもたちが手作りマスクをしている姿はなかなか壮観でしたが、「出来る人が、出来ることを！」という婦人会のモットーに従って活動しました。



写真1 児童用のかわいいマスク



写真2 琴芝小学校へマスクを贈呈

〈山陽小野田市連合女性会〉

3月4月とマスク不足が続きましたが、6月くらいには市中にも出回るようになってきました。そうした中、マスクが余っているところがある反面、まだ足りないところもあるという話を聞きました。

そこで、女性会が各公民館にマスクの募集箱を設置させていただき（写真1）、集まったマスクを必要とする高齢者福祉施設へ寄付することにしました。

市内各公民館に設置した募集箱に、260枚が6月中に集まったので、女性会幹部5名で市内の特別養護老人ホームを訪れ、贈呈しました（写真2）。

施設の方からとても感謝されたことをきっかけに、各公民館のマスク募集箱はまだ設置を続けており、数が集まったらまた贈呈することとしています。



写真1 公民館に設置したマスク募集箱

写真2 特別養護老人ホームへ贈呈しました

〈阿武郡婦人会〉

婦人会をはじめ、JA 女性部、社会福祉協議会、役場職員有志で、布マスクを作製し、阿武町へ贈呈しました。

婦人会では、要請を会員に呼びかけ、自宅で作製したものを持ち寄りました。当初目標の800枚を越え、1,000枚が集まりました。

4月30日に役員で町役場を訪れ、花田町長に1,000枚のマスクを贈呈しました。贈呈式の様子は、広報あぶ5月号5頁に掲載されました(写真)。

阿武町はそれを、小中学生、高齢者施設、要支援・要介護認定を受けている在宅者に配布されました。

4月30日

町内有志100人以上・完成マスク1000枚以上

ボランティアのみなさんを代表して
花田町長にマスク1000枚を贈呈

手作り布マスクの贈呈式

広がる支えあいの輪

先月号の「広報あぶ」と一緒に配ったチラシでの「布マスク作り」の呼びかけに、町内の多くのみなさんが、「ボランティア」として応えてくださいました。

婦人会、JA女性部、社会福祉協議会、役場職員有志といった「団体」としての協力だけでなく、「個人」としての協力もしていただき、携わってくださった方の人数は、総勢100人以上にのびりました。

そして、当初のマスク作りの目標枚数は「800枚」でしたが、贈呈式までに「1000枚」の大台に到達し、その後もどんどん増え続けています。

完成したマスクは、学校や児童クラブを通して町内の子どもたちに配ったり、福祉施設などを通して支援を必要とする高齢者・障がい者の方たちに配ったりさせていただきました。ご協力いただいたみなさんに心より感謝いたします。

写真 広報あぶ5月号に掲載された贈呈式の模様